

令和4年度 美川まちづくりセンターの主な取組

事業名 地域の買い物支援事業

ミニ感謝祭☆美川まちづくり楽市一周年記念

P

●事業実施に至った背景、目的

★買い物弱者の生活援助の一助として、また地域生産者と消費者の交流を目指し、令和3年8月より毎月第1、第3土曜日に美川まちづくり楽市(朝市)を開催し、一年が経過した。無事一年を迎えられた事に感謝し、ミニ感謝祭を開催する。本来一周年にむけて大々的なイベントを計画していたが、コロナ感染拡大の為、縮小を余儀なくされた。

感謝祭を行う事で広く地域に浸透する美川まちづくり楽市を目指す。

★1年を機に、地域が何を求めているかを知る為にアンケートを実施し、地域に寄り添ったまちづくりを目指す。

●事業を実施するまでの過程(関係機関との打ち合わせ等)

★ミニ感謝祭における実施にむけた会議(令和4年6月～9月 計8回)

★運営推進員に声かけし、感謝祭の応援を要請。※センターだより、チラシ等で周知する。

D

●事業の概要

ミニ感謝祭☆美川まちづくり楽市一周年記念

- ① 新鮮野菜、加工品等美川地域で採れた品を販売する。
- ② 日頃の感謝を込めて卵の無料配布を行う。
- ③ 包丁研ぎ屋をお願いする。
- ④ お楽しみ抽選会を行う。各出店者より抽選会の品を準備する。
- ⑤ 多くの方が来場する事を活かし、アンケートを実施する。

C

●事業実施後の振り返り

★アンケート記入後にお楽しみ抽選券を渡す方法でアンケート回収率が上がった。

★各ブース、抽選場所、アンケート場所等の図面を作成し、人の流れを作り、来場者はコロナ禍でもスムーズに回れた。

★抽選会の方法に手間取り来場者を待たせた。

★新鮮な野菜等を提供でき、大変好評だった。

A

●令和5年度以降の方向性

アンケート調査より

美川楽市利用者・・・美川地域住民が78%
年代・・・70～80才代が60%
感想・・・「安心して購入できる」が73%

★高齢者が交流する場の提供

★楽市の現場まで来れない方への対応策。

★地域が希望する品、出店の内容などの検討。

★継続していく為の協力体制の確立。

